

平成25年度特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会事業計画書

1 事業実施の方針

池谷・入山集落において、「集落の存続」を目指し、これまで以上に組織的に活動に取り組む。具体的には畑作の部分で組織的に作付けを行い、計画的に販売を実施する事で活動資金を生み出す。農地の集約化を組織として行い、新規就農者の受け皿を作るために、人・農地プランを作成し、池谷・入山生産組合を設立する。
また、池谷集落への定住者を促進するために、1棟の住居建設を計画する。移住促進事業の一環で十日町市からの委託を受け、市内全域に移住希望者を呼び込むための事業を実施する。
上記以外に十日町市とのパートナー事業部門という位置づけで里山プロジェクトの事業を実施し、広く十日町市内の中山間地の活性化につながる活動を実施する。
市役所とタイアップした事業を十日町市内全域を対象に実施する事により、当団体の設立時からの考えである「池谷・入山集落をモデルにしながら広く十日町市内、ひいては日本全国の過疎地域に希望を与える」という事を具体的な取組として実施する事が出来る。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
農産物直販事業	①山清水米の販売 ②池谷・入山集落の農林産物、高長醸造場の商品、石巻の海苔等を販売 ③池谷・入山の有休農地を活用し、組織的に畑作や山菜販売を実施 ④池谷・入山生産組合設立(人・農地プランの作成)	通年、随時	池谷・入山集落	11人	農林海産物を購入する全国各地の人々200人	11,697,000
体験交流事業	池谷・入山集落内で外部から参加者を募り体験交流イベントを開催	月1～2回程度、年間15回程度	池谷・入山集落	5人	池谷・入山集落以外に住む全国各地の人々200人	1,825,000
移住促進事業	①池谷集落内に移住者が定着するための住宅を建設 ②さとナビサイトを活用して移住希望者への情報発信と市内の移住に関する情報の一元管理 ③十日町市内のインターン受入調整	通年、随時	十日町市内全域	3人	地域活性化や田舎暮らしに関心がある人々10人 移住者1人	14,541,875
情報発信・農山漁村応援事業	①全国各地の地域活性化に関心がある方々への情報提供 ②メディア等での情報発信	通年、随時	日本全国	5人	全国各地の地域活性化に関心がある方々500人	290,000
分校維持管理事業	①池谷分校の維持管理 ②イベント以外での来訪者への対応	通年、随時	池谷・入山集落	4人	池谷分校利用者900人	671,500
里山プロジェクト(地域復興支援員設置事業)	①十日町市内の中山間地振興 ②十日町市内での地産地消を推進 ③農産物と加工品の付加価値をつけた商品開発	通年、随時	十日町市内全域	6人	十日町市内の中山間地の集落の住民1000人	24,540,382

全体組織図

十日町市役所

理事会
 代表理事 山本浩史
 副代表理事 曾根一真
 理事 曾根武
 濱坂都
 三上泰
 稲山旭太
 多田朋孔
 監事 今村安

事務局長 多田朋孔

十日町市とのパートナー事業部門:事務所は松代支所

里山プロジェクト(地域復興支援員設置事業)
丸山三義
高橋治夫
中島大介
小山友誉
小島信勝
佐久間千津子

自主事業:事務所は池谷分校

農産物直販事業		体験交流事業	移住促進事業	情報発信・農山漁村応援事業	分校維持管理事業
販売部門	生産部門				
多田美紀	曾根藤一郎	小佐田美佳	多田朋孔	山本浩史	坂下可奈子
(多田朋孔)	曾根武	(山本浩史)	(小佐田美佳)	多田朋孔	(山本浩史)
(坂下可奈子)	曾根イミ子	(多田朋孔)	(ボランティア)	(多田美紀)	(多田朋孔)
(小佐田美佳)	庭野功	(多田美紀)		(坂下可奈子)	(小佐田美佳)
(ボランティア)	庭野ヒサ	(坂下可奈子)		(小佐田美佳)	(ボランティア)
	山本浩史	(ボランティア)		(ボランティア)	
	曾根一馬				
	多田朋孔				
	坂下可奈子				
	(ボランティア)				

管理部門
多田朋孔
小佐田美佳
多田美紀
(坂下可奈子)
(ボランティア)